

工夫をしているわけ。

例えばカリフォルニアのローリング・ヒルズ市などは、教育費に住民税を多くあてて、そこは結局、とても子供たちの成績もいいし、出生率も高い。そういうところを選んで暮らす住民は、同じ意識でコミュニティをつくるから、治安も良い。

宇田川▶ 私も教育と子育てが土台。時代にあった環境整備を踏まえ、八潮の郷土文化を知り、お父さん、お母さん、家族を大切に、優しさや道徳心を育て円熟した八潮の教育を目指しています。インフラ整備が進んでゆく八潮市では教育や子育て、医療の安心が重要。今の経済状況の中、自治体のサポートがもっと必要です。

しかし、市議会にいて感じたのは、大胆に政策を動かそうとしても市独自では限界があるということです。私が県に目を向けたのは、県政の力との連携しなければ、パワーが発揮できないと感じたからです。

### 日本の場合、市を充実させるには県の力が不可欠(牧田)

牧田▶ 宇田川さんのように真剣に地方の在り方を考えると、日本の場合には必ず壁に突き当たります。

アメリカなど他の国は地方自治が非常に自由なんです。日本のどこに地方自治という面で一番の欠点があるのかというと、憲法の条文そのものが地方自治を阻害している。私は住民の意思をくんで政策に投影するのに、いまのような憲法でなくていいと思うんです。今は、国の規制が多く、国の意向が

働きすぎる。それに対抗するには県と市が連携しないと。

一般の方は市のことは市で決めると思っていますが、実際には市は県や国に密接にからまっています。国はどうしても画一的な管理し易い行政を求めてきますから、宇田川さんは、是非、市と一体になって県に八潮の立場を訴え、県を動かす活動をしてください。

宇田川▶ はい。県と八潮市をつなぐため、精一杯、頑張ります。今日はお忙しいところ、ありがとうございました。



**牧田博士 経歴**  
早稲田大学大学院博士課程政治学専攻政治学専攻修士課程修了。東海大学名誉教授、明治大学・神奈川大学講師、政治学博士(明治大学)地方行政、行政学、政策過程論専攻、日本の広域行政研究の第一人者であり、機能主義的自治分析論を提唱。アメリカの行政システムの分析から日本の行政の改革プランを提言している。また、総務省、国土交通省の職員の研修講師を務め、国会議員の政策提言も濃くなってきた。日本地方自治研究会常任理事などを歴任。著書:アメリカの広域行政(1981年 勁草書房)、アメリカ大都市圏の行政システム(1996年 勁草書房)、機能一空虚な市民論を超えて(2007年 勁草書房)

Close UP!

## 宇田川ゆきお政策委員長、大山しのぶ八潮市長とじっくり政策協議!(1月25日)

八潮市の活性化、県との連携についてお伝えしました。大山市長からも共感していただきました。(市長室で)



### INFORMATION

#### 演説会告知ポスター掲示のお願い

八潮市の会のポスターを掲示していただける方はどうぞ下記の連絡先までご連絡ください。宜しくお願いいたします。電話048-996-7551



政策グループ

# 八潮 絆の会

埼玉県八潮市八條 395

### 宇田川ゆきお政策委員長の事務所です。



八潮 絆の会のご意見・ご要望はこちらでもお受けします。

宇田川ゆきお 連合後援会事務所 TEL.048-996-7551

「八潮」の立場、皆様の思いを埼玉県に活かします。

Vol.2 2015年2月20日 発行  
埼玉県八潮市八條 395 八潮 絆の会

# 政策グループ 八潮 絆の会 ニュース

Yashio kizunanokai NEWS

## 政策委員長に前市議会議員の宇田川ゆきお氏を選任しました。

会長 梶原 雅史

「八潮 絆の会」は前市議会議員の宇田川ゆきおさんを政策委員長に選任しました。皆様の声を聞き、会の政策提言に活かしていきたいと思っております。どうぞ皆様の声をお寄せ下さい。



## 大山市長、多田前市長からも熱い期待が!



八潮市長 大山しのぶ

八潮市前市長 多田重美

## 皆様の意見を活かします。政策委員長として新たな次元に!

### 政策委員長 宇田川 ゆきお

政策委員長 宇田川 ゆきお



私、宇田川ゆきおは今回「八潮 絆の会」の八潮市への新たな発展に市民本位で取り組むという熱意に賛同し、政策委員長といった形で参加させていただきました。

私はこの八潮市に生まれて、八潮で育ち、また先日まで八潮市の市議会議員として皆様にお育ていただき、議会で様々なことを

経験してまいりました。市議会議員として培ってきましたこの経験を今回は最大限に活かし、八潮市の主役である皆様とともに、八潮市のためにも全力で応えて参る決意です。

次なる八潮市への発展に向けて、皆様からの八潮市への強い思いを私たちに聞かせてください。

八潮 絆の会 政策委員長 前八潮市議会議員

# 宇田川 ゆきお Udagawa Yukio

皆様の声を真摯に聞く! 若さと行動力の持ち主。

〈略歴〉 ●昭和53年八潮市八條生まれ ●八潮市立八條中学校卒業 ●浦和実業学園高等学校卒業 ●東京コミュニケーションアート専門学校卒業 ●音楽の道へ ●八潮市議会議員選挙にて初当選 ●専修大学法学部中退 ●平成21年、八潮市議会議員選挙にて二期目当選 ●平成25年八潮市の発展には県政との連携が必要と市議会議員を辞し政治活動中 ●所属団体:八潮市商工会青年部、八潮市消防団、八條有志クラブ、尾上劇団慰問部長、川をきれいにする会、郷土研究会監事、史跡保存会理事、八潮ローンボウルズ愛好会理事、音楽チャリティサークルBeating Stone、地元バスケットボールチームYggdrasil

# 八潮と地方の未来を語る。



八潮絆の会・政策委員長 前八潮市議会議員  
宇田川 ゆきお さん

政治学博士 東海大学名誉教授  
牧田 義輝 先生

先日、八潮絆の会の政策委員長・宇田川ゆきおさんと政治学博士・東海大学名誉教授の牧田義輝さんが「八潮と地方の未来を語る。」と題して、対談を行いました。

八潮市議会議員を務め、八潮の立場や皆様の願いを埼玉県に伝えようと県政に向けて活動する宇田川ゆきおさんは、アメリカの広域行政を研究し、日本の地方自治体がどのようにしたら本当に住民のためになるかを提言してきた牧田義輝博士と1時間半にわたって語り合いました。その一部をご紹介します。



次号は Vol.3  
福祉・産業政策などを  
特集します。

## 迫り来る自治体消滅時代をどのように生き抜くのか。(牧田)

宇田川▶ 牧田博士、本日はどうぞ宜しくお願いします。先日、先生の本、「機能する地方自治体」を読ませていただきました。先生は、地方自治、とくに広域行政を研究し、地方自治体がどのようにすれば有効に機能するか、日本はどのように地方を育てていけば良いのかを提言なさっていますね。

牧田▶ 読んでくださって恐縮です。

宇田川▶ 私は、八潮市、そして埼玉県で、地域の皆さんが幸福に、そして快適に暮らすことを目標にして、これまで活動してきました。先生の著書には、わが国で、地域社会において住民の幸福な生活と利便性を確保するために、機能的な地方自治システムを

どのように構築するかを考察されていることで、そこに一致点を見て、非常に心強く感じました。

牧田▶ 宇田川さんは埼玉の八潮ですよ？

宇田川▶ はい。私は八潮の八條という市の北部で生まれました。高校卒業後は音楽の道を歩んでいましたが、地元八潮のために働きたい、若い世代の声を政治に届け

たいと考えて、26歳の時に市議会議員となり、2期務めました。

牧田▶ なるほど。若いのにたいしたものですね。

ときに昨年、元総務大臣の増田さんが、2040年には人口減でなくなってしまう「消滅可能性都市」を発表しましたが、八潮はそこには入っていませんか。

宇田川▶ あれはショッキングでしたね。私も気になって見たのですが、近隣のいくつかの市はそこにリストアップされていましたが、お陰さまで八潮は入っていませんでした。

ただし、リストに挙がっていなかったから安心ということではなく、私たち世代の未来への責任として、この地域を魅力ある都市にしていかなばと思っています。

牧田▶ 増田さんのレポートは若干、マスコミ受けを狙ってセンセーショナルすぎる嫌いはあります。消滅といっても、何もまちそのものが消えてしまうのではなく、自治体として経営が成り立たなくなるといことで、近隣自治体との広域行政的手法で生き残っていくことは可能ですからね。

しかし、急激な人口減少は日本の重大な課題であることにかわりはありません。宇田川さんは政治家として、そこはどう考えているのかな。

## 近隣から八潮に人が移り住むためのまちのビジョンは(宇田川)

宇田川▶ 八潮はTXの開通で利便性が高まり、八潮駅開通直後からわずか10年で乗降客も2.7倍を超えました。大きな可能性を感じています。

しかし、八潮市の開発は、まだTXの沿線である南側に重心がよっています。

私は北側にももう一つの重心を置いて、南部と北部の2つの力で八潮を活性化すればもっと個性豊かな都市になると思います。

具体的には、まず、中川新堤防整備を急ぎ、南北をつなぐ導線散歩スポットの確立を目指し、新たな観光資源と市民の憩いと運動で賑わいを作り出します。八潮駅、フラワーパーク、北部開発PAへと中川新堤防を通し、将来繋がっていくことが必要、そこに第二の八潮駅を持ってきて、整備をして、暮らしに便利で快適なまちをつくっていくというイメージです。

牧田▶ かなり具体的なビジョンをお持ちですね。それがうまく機能していけば、東京や周辺自治体から移住する人が増えてくるでしょう。

まちの活力を考えると人口が欲しい。そこでもうひとつ考えるべき事は、人口そのものを増やすことです。

宇田川▶ 地元で子育てしやすい、子供を産み、育てやすいという環境づくりを考えています。同年代や年下の仲間と話をすると、私たちの世代は、今は給料が上がらないというのが現実です。子供がたくさん欲しいと思っても、経済的、環境的な条件を考

えると躊躇してしまいます。やはりなんとかしたいとは思いますが。

私も昨年、子供が生まれましたが、父親の視点で子供や母となった妻を見ると、大変だとつくづく思います。

## 八潮で思い切った子育てに特化した政策展開も加える(宇田川)

牧田▶ そのことを考えればもっと、国や地方自治体は、お金は使っていないように思える。人口を増やすためのお金をね。フランスの人口が増えてきているのは、結局かなり環境がいいですから。

宇田川▶ 今、八潮市では大山市長が教育を重視して、そこをまちの個性と魅力にしようとして、強力に政策展開をしています。私はそこに加えて、子育て政策の充実をもっと大胆に加えていただきたいと、私の想いを訴えてきたところですよ。

乳幼児から小・中・高校生までの医療、健診を充実させ、体も心も家計にも安心して子育てができる環境をつくる。医療や保育、幼児教育も充実させねばなりませんし、子育て世代の意見やニーズに対応していかなばなりません。

もちろん、高齢者や産業の活性化に私自身も取り組みますが、八潮市の将来の労働人口、若者人口を維持するには、子育てにまず特化することも、まちの未来を考えると正しいと思っています。こういった層の人が増えなければ、八潮の活力は増えていきませんから。

牧田▶ そうですよ。子育てに特化するってのは、良いですよ。

私は総務省に頼まれてプロジェクトでアメリカに行って調べて来たことがあって、その時、ずいぶんと面白い自治体があって…。要するに住民を幸福にしさえすれば良いっていう考えだから、いろんな

<4面につづく>

## 期待します。

八潮市のまちに必要なもの、政治に求めるものを伺いました。

### 医療・福祉の向上を!

八潮の医療、福祉の向上のために私たち地域の医療機関も最大限の協力をいたします。そのためにも政治には強いリーダーシップを求めます。

42歳 歯科医師 院長 本澤 孝



### 地元農産物の活性化!

もっと様々な人々に地元八潮の農産物を食べていただきたい。TXが開通しているからこそ恩恵を地域の活性化にさらにつなげて欲しいです。

28歳 農業関係団体職員 雨谷 翔太



### 教育環境のレベルアップ!

子供たちの学校が最大の心配事です。八潮の教育環境また質のレベルアップによる、魅力的な八潮の教育を必要としています。

28歳 主婦 高野 このみ



### 世代を結ぶまちづくり!

良いまちづくりをするには、まずは住民の話聞くことからですので、八潮市の未来のまちづくりのためにも、若い世代から私たちの世代までの様々な意見に耳を傾けていただきたいです。

68歳 農家 入谷町会 元町会長 会田 辰雄



### 事業開発で八潮市の活性化!

八潮市には開発による恩恵の行き届いていない地域がまだあります。八潮市全体の活性化のためにも更なる開発事業の立ち上げに期待しています。

70歳 建設会社 代表 小幡 光一



地域の声を真剣に聞き、埼玉県に八潮市の思いや願いを届けるため、活動を展開する宇田川委員長